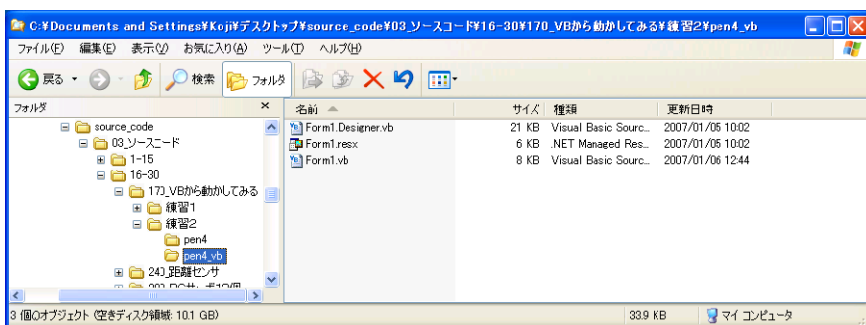


このドキュメントでは、「二足歩行ロボット自作入門」のサポートページからダウンロードした Microsoft Visual Basic 2005 用のソースコードの利用方法について、ごく基本的な2ケースを説明します。

1. 共通作業：ソースコードの展開（解凍）

ダウンロードしたソースコードの圧縮ファイル（source_code.zip）をデスクトップなど適当な場所に展開します。ソースコードはそれぞれの製作記事の日数別にフォルダを分けて格納されています。例はエクスプローラで17日目のVBで作ったプログラム pen4_vb のフォルダを展開しています。



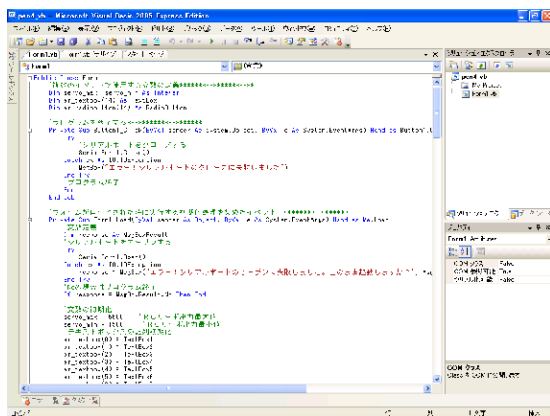
画面 1. 1：展開したフォルダ

2. ケース 1（ソースコードの差分を利用する場合）

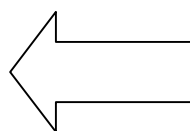
本の記事に沿ってフォームを編集した後、ダウンロードしたソースファイルからその日に追加するコードを抜き出して使用するケースです。

画面 1. 1 では pen4_vb フォルダの中に vb と resx という拡張子のファイルがあります。拡張子が vb のファイルのうち、ファイル名が短い方（ここでは Form1.vb）が製作記事の中でソースコードとして入力する内容を含んだファイルです。

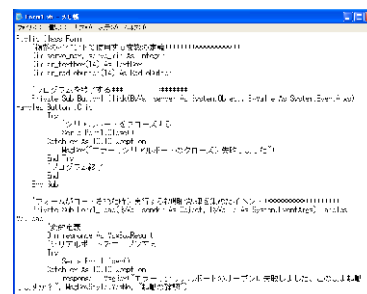
VB を起動し、製作中のプロジェクト pen4_vb を開きます。その後、Form1.vb をメモ帳などのテキストエディタで開き、ほしい場所をコピー&ペーストします。



画面 2. 1：VBでコードを表示する



コピー &
ペースト



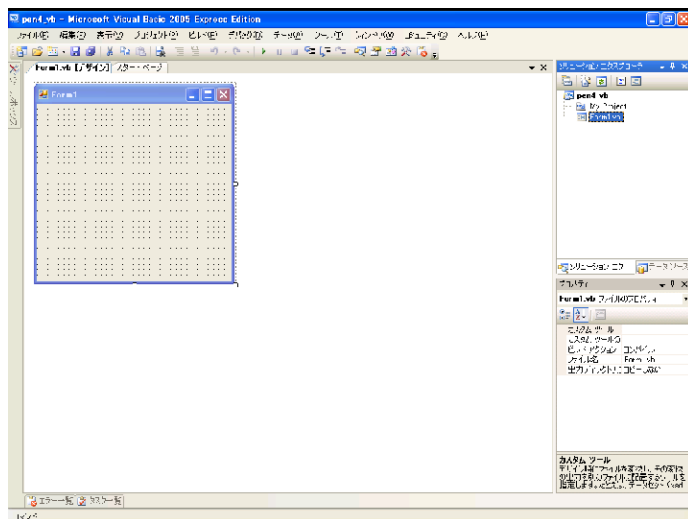
画面 2. 2：メモ帳で Form1.vb
を表示する

3. ケース 2 (ソースコードファイル全体を利用する場合)

新規に定義した初期状態のプロジェクトに、その日の記事における最終状態を読み込む方法です。

① プロジェクトの定義

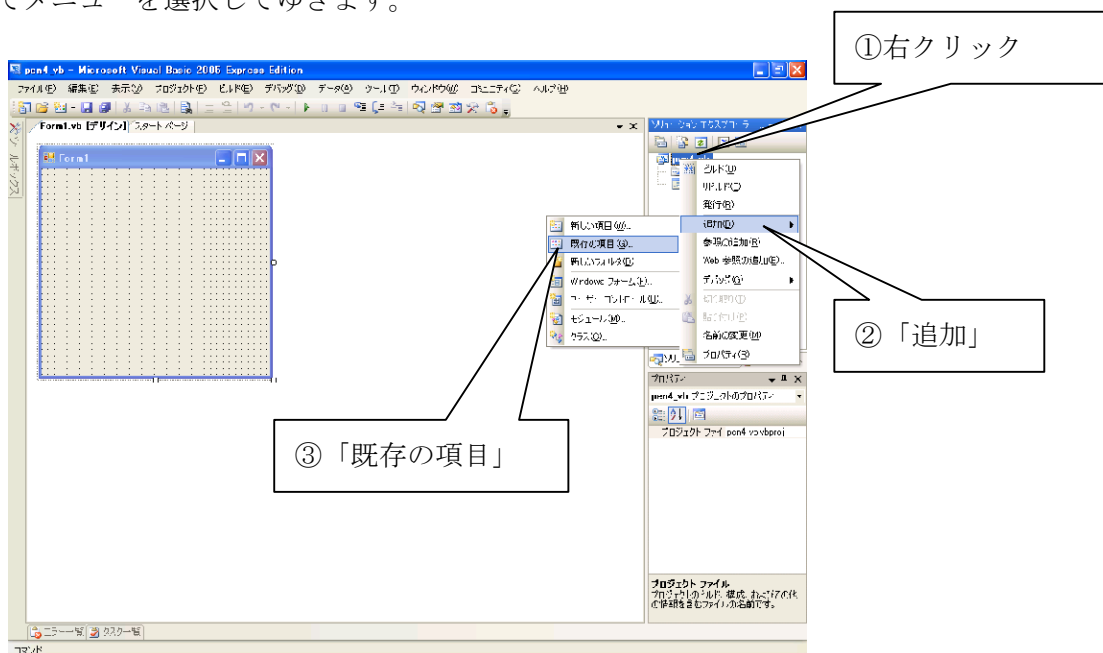
新しくプロジェクトを定義します。(17日目の製作記事参照)



画面 3. 1 : 新規に定義したプロジェクト

② 既存項目の追加

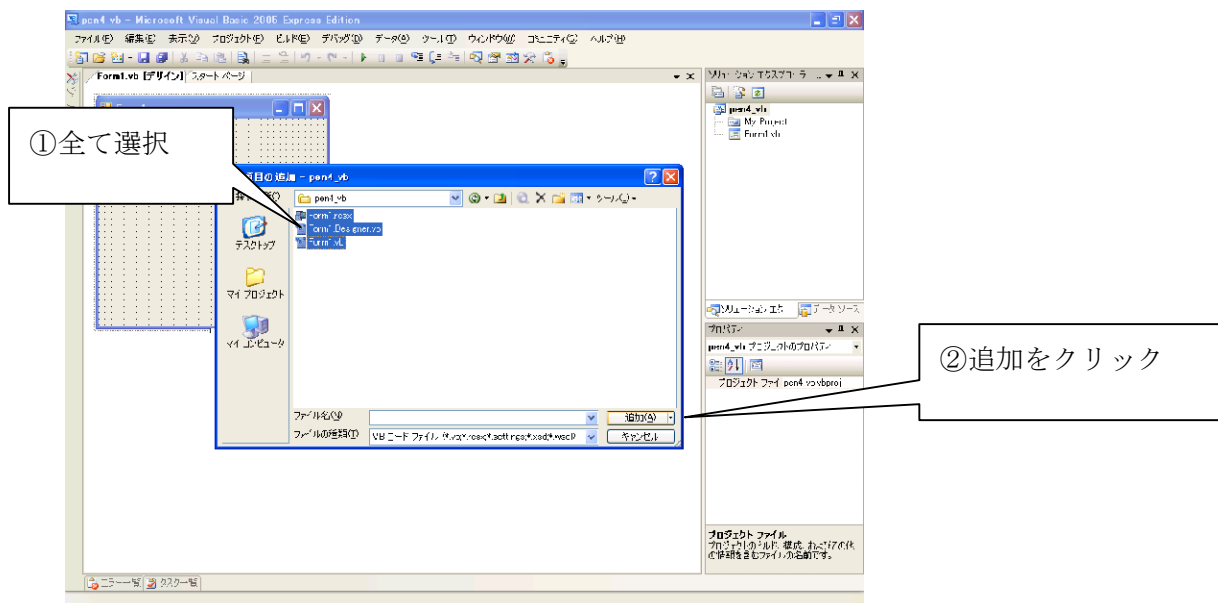
ソリューションエクスプローラの中で Pen4_vb を右クリックし「追加」－「既存の項目」の順でメニューを選択してゆきます。



画面 3. 2 : 既存項目の追加

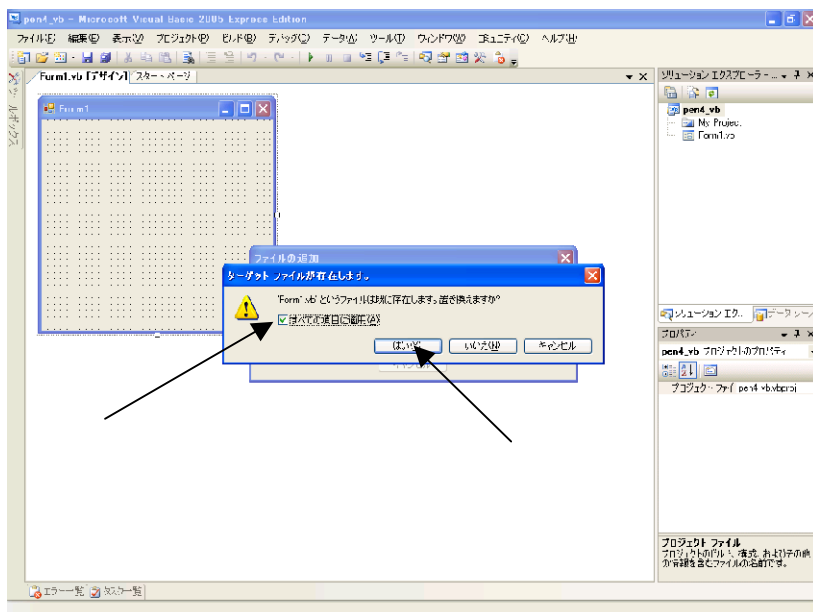
③ファイルの選択

対象フォルダのファイルを全て選択し、追加します。



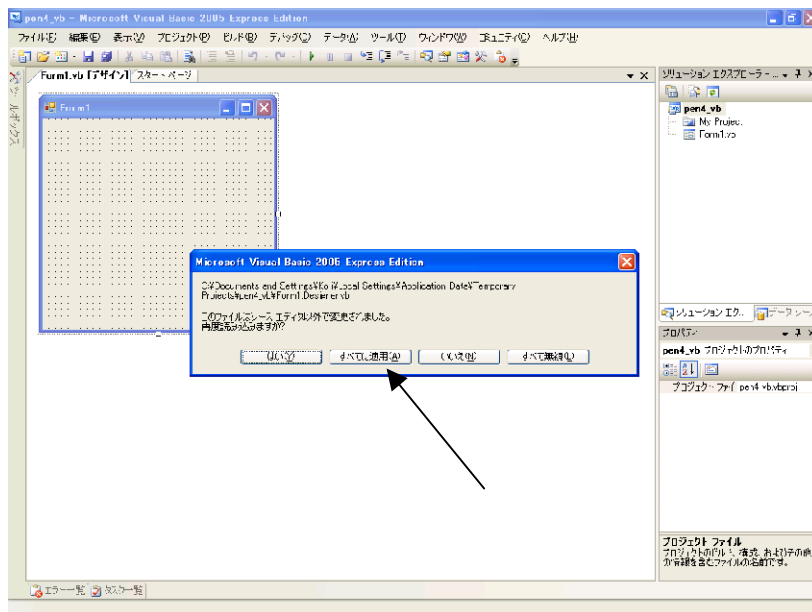
画面 3. 3 : 追加するファイルを選択

置き換えの確認があるので「全ての項目に適用」をチェックしたのち「はい」をクリックします。



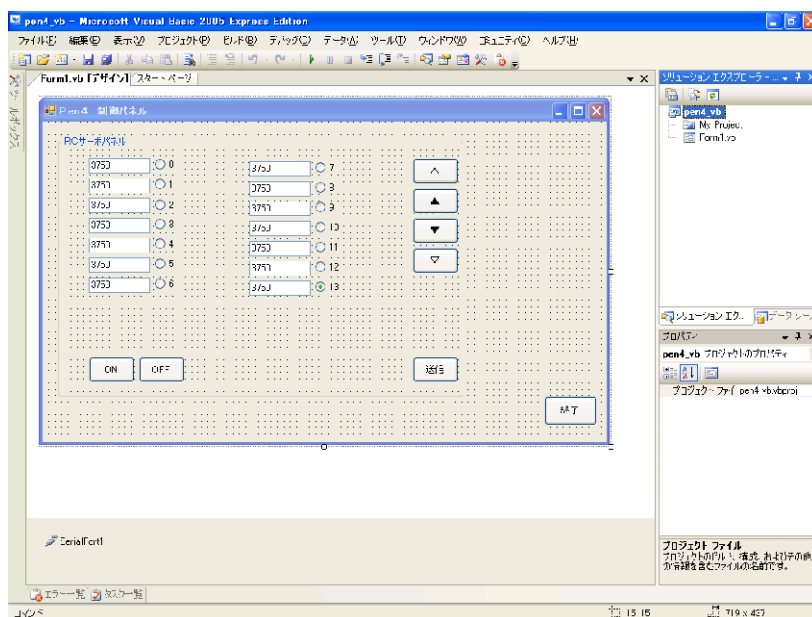
画面 3. 4 : ファイル置き換えの確認

再度読み込むかの確認があるので「全てに適用」をクリックします。



画面 3. 5 : 再読み込みの確認

④ 読み込み完了



以上で読み込んだソースコード他が有効になりました。

以上